



メディポリス指宿通信 2020年2月号

第39回いぶすき菜の花マラソンが開催されました。

1/12 雨上がり後の曇り空のなかでしたが、全国から約13,000名のランナーが参加されました。いぶすき菜の花マラソンは、毎年1月の第2日曜日に開催されています。コースは、最大約100mの高低差があり、序盤10km付近まではアップダウンが連続、終盤は35kmから、なだらかな上りの続く「心臓破りの坂」が待っています。厳しいコースですが、コース沿いの黄色い菜の花、池田湖、開聞岳などの素晴らしい景色は、疲れを癒してくれます。さらに沿道からの温かい声援と心のこもったおもてなしが、人気のマラソン大会です。また1/25・26には、「菜の花マーチ」というウォーキングイベントも開催されました。このイベントも例年多くの方々に参加されます。参加された方々も隣接のホテルに宿泊され、会場から戻られてゆっくり温泉に入られていましたよ。やっぱり温泉と・・・芋焼酎の水割りでしょ！



鹿児島中央駅前のキャンセビルに相談窓口があります

鹿児島中央駅の前にある、キャンセビルの6階にがん陽子線治療に関する相談窓口がございます。陽子線治療の内容や、治療の費用・手続きの仕方など、気軽に相談できるコーナーです。がん陽子線治療に関するお問い合わせはお気軽にお越しくださいませ。

がん治療、 ご相談下さい

陽子線治療
ってどんな治療？

前立腺がんなど
一部の治療費が
保険適用に？

治療費は？
手術方法は？

どんながんの
治療が出来る？



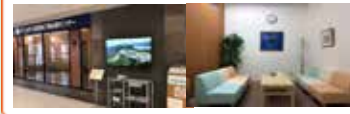
お問い合わせ・ご相談窓口

窓口でご相談

鹿児島中央駅相談センター

鹿児島市中央町10 キャンセビル6F
平日/9:30~17:30
個別相談もお受けいたします。(予約優先)

定期説明会開催中！ 毎週火・土
14:00~15:00



お電話でご相談

☎ 0120-804-881

平日/9:00~18:00 (説明会での個別相談予約も承ります)

どのような事でも
お気軽に
ご相談ください！



一般社団法人メディポリス医学研究所

メディポリス国際陽子線治療センター

〒891-0304 鹿児島県指宿市東方4423

治療症例実績数 3548件

・前立腺	1501	・肺	272	・骨軟部	76
・肝・胆管	608	・転移(リンパ節)	225	・腎	23
・肺	534	・頭頸部	170	・その他	139

(2020年1月24日現在)

お問い合わせ先

一般社団法人 メディポリス医学研究所
メディポリス国際陽子線治療センター
〒891-0304 鹿児島県指宿市東方4423番地
【治療相談】 ☎ 0120-804-881

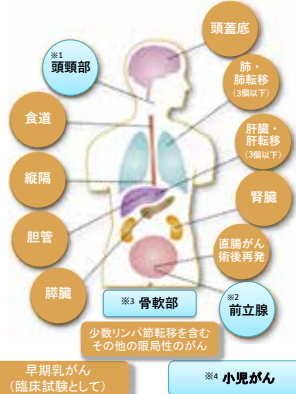
Find us on @mptrc



前立腺がんの患者さんが、1,500名を超えました

前立腺がんの患者さんが1,500名を超えました。

当センターで治療できるがん



◆公的医療保険対象

- ※1 頭頸部腫瘍 口腔・咽喉頭の扁平上皮癌を除く
- ※2 前立腺がん 限局性及び局所進行性で転移を有するものを除く
- ※3 骨軟部腫瘍 手術による根治的な治療法が困難である限局性のもの
- ※4 小児がん 限局性の固形悪性腫瘍に限る



一般社団法人メディポリス医学研究所
メディポリス国際陽子線治療センター

2018年、前立腺がんなどが公的医療保険適用になり、治療の選択肢が広がりを見せております。2011年の治療開始から前立腺がんは1,500名を超えました。また膵臓がん治療は270名ほどとなり、全国からお問い合わせがごさいます。

私たちは、患者さんを「待たせない医療」を実践しながら、今後もより一生懸命取り組んで参ります。

【当センターで治療できるがん】

2018年4月から、前立腺がん・頭頸部がん・骨軟部腫瘍の一部の治療について、公的医療保険が適用となりました(2016年 小児がん適用開始)。治療費の負担減など、より身近ながん治療の選択肢になることが期待されます。

「切らずに治す乳がん治療」の実現を目指して

陽子線は、体内のがん病巣をピンポイントで狙うことができる特性を活かすことと、体内のがん病巣より奥に行かない特性を活かすことで、乳房の奥にある肺や心臓などの重要な臓器への影響を抑え、乳房内のがんに狙いを絞って治療することができます。しかし、柔らかくさまざまな形に変化する乳房は、固定が大変難しい部位です。

陽子線治療を行う場合には、毎回、全く同じ形に患部を固定する必要があるため、乳がん治療の最大の課題は患部の固定とされてきました。肺や心臓といった乳房の奥にある重要な臓器を保護するために、仰向けとうつ伏せの体位を自在に反転できる装置を開発。加えて、立体的で柔軟な乳房に陽子線を正確に当てるために、乳房を固定する装具の作製に3Dプリンターの技術を応用しました。当センターでは、開院以来「切らずに治す乳がん治療」の実現を目指し臨床試験を進めております。

